



<Vol.103の記事>

募集 キッズテニス大会 参加者&ボランティア募集！
緊急特集 マニフェストに見るスポーツ政策

第3回キッズテニス大会

要項決定！ 参加者募集！

浦スポが県内の地域スポーツクラブ等に呼びかけて始まった「キッズテニス大会 in SAITAMA」。今年度で第3回を迎えます。都道府県単位でこのような大会を開催できている地域はほとんどなく、テニス関係者の間では全国的にも注目されている取組みです。

先日、今年度の第1回実行委員会が開催され、大会にむけた準備が始まりました。今年度の大会は以下のとおり開催されることとなりました（今年度は、マナー教室は行ないません）。

日時：10月31日（土） 9時～
場所：駒場体育館
形式：2学年ごと・男女別シングルス
（1・2年、3・4年、5・6年）
参加費：1,000円

（実行委員会：NPO浦和スポーツクラブ、NPOあさひスポーツ・文化クラブ、鴻巣プレス、上落合キッズテニスサークル/協力：埼玉県テニススポーツ指導者協議会）

ここで大会の雰囲気慣れ、12月に開催される全国大会にチャレンジするお友だちもできました。

9月には、テニスの各プログラムで、募集要項を配布します。ふるって参加してください！！

ボランティア参加してみませんか！

この大会には、審判・進行・運営などで**60～70名近いボランティアスタッフが必要**となります。スムーズな大会運営が図られているのも、これらのボランティアスタッフの力があるからこそだと思います。

審判は、テニスの経験が条件となりますが、その他の運営スタッフには、テニス経験を特に問いません。

皆さんの力で、キッズテニス大会 in SAITAMAを全国に誇れる大会へと育てていただければと思います。

ボランティアスタッフとして参加いただける方は、クラブ事務局までご連絡ください。

芝生化 その後・・・

今年1月に、鳥取のニール・スミスさんをお呼びして開催した浦スポ塾特別版「芝生から始まる体作り」。その後のさいたま市議会では、浦スポ塾に参加した議員から、市内の学校の芝生化に関する質問が出されていました。しかし、残念ながら、市内では、まだ具体的な取組みは始まっていません。

クラブとしても、とにかく事例を示すことが必要と考え、芝生の苗の手配までしていましたが、実践できる土地が確保できず、今年度は断念しました（狭い土地でやったのではスポーツ利用ができず、ともするとマイナスイメージを与える恐れがあるので、苗を出荷するわけにはいかないという、ニールさんからの説明に納得せざるを得ませんでした）。

ニールさんの最近のブログ（芝生化奮闘記）の一部を紹介させていただきます。

右写真は、植えてから1ヶ月半が経った広場の様子です。



ティフトンが元気だけどそれ以上に元気なのは、いわゆる「雑草」だそうです。多くの人は、この雑草を抜かなければと考えてしまいます。

最低週1回しっかり芝刈りを続けた写真が右のものです。刈りっぱなしで、雑草を抜くことはしていないそうです。



2枚目の写真の芝生で十分に良いと思いますが、いかがですか？ とニールさんは問いかけています・・・。

もう一つ、ブログの記事を紹介します。

ニールさんの住む鳥取まで、和歌山県の小学4年生が視察に来たそうです（お母さんと妹さんも同行）。

きっかけは、参加した市民マラソン大会のスタート・

ゴールが鳥取方式で芝生化した田辺市の近野小学校だったことだそうです。「自分の小学校の校庭を絶対同じように芝生にしてほしい」との意気込みで、インターネットで調べてきたそうです。

これまで100件以上対応してきた行政やスポーツ関係者の視察と異なり、技術的なことや財政的なことなどの話は全くなく、一貫して校庭芝生の恩恵を受ける当事者である小学生の目線で話が出来たそうです。

行く場所行く場所、妹と裸足で走り回り、話をすることは「この芝生の感触はどう？」ばかりでした。

最初の場所で野球が大好きという少年が走り出したと思ったら、いきなり全力のヘッド・スライディングをやってくれました。前の晩から降り続いていた雨で芝生が濡れていましたけど、それを全く問題にせず、まぶしい笑顔でのヘッド・スライディングでした。

「土では、このように思いっきり良く出来ないのでもらないけど、これは最高！！」

.....

さいたま市内でも、理解が広がり、早く学校の校庭やグラウンドが芝生化され、子ども達が元気に走り回る姿みられるようになってことを願いながら、芝生化に関する取組みを進めていきたいと思います。

マニフェストに見るスポーツ政策

ニュースがお手元に届く頃には、総選挙が終わってしまっていると思いますが、街頭でもテレビでも、立候補者の方からスポーツに関する政策が説明されることってほとんどありませんね.....。

スポーツって、新聞でもテレビでも多くの国民の関心事であることははっきりしていますが、こと政治や産業になると扱いが小さくなります。

スポーツ産業は、アメリカでは20兆円規模と言われていますが、日本では、ウェアやシューズは衣料産業や靴産業に、野球やサッカーは娯楽産業に分類され、スポーツ産業に関するデータは整理されていません。

スポーツって、私たちの生活には、とても大切なものだと思うのですが.....。そこで、政党のスポーツ政策について、ちょっと見てみることにしました。

まず、今回の国会の解散で審議が中断し廃案となってしまった「スポーツ基本法」ですが、当初は超党派のスポーツ議員連盟所属議員が中心になって提出される予定でしたが、最後は理念の対立もあり、与党単独提出となっていました。では、どのような違いがあったのでしょうか。

はやりのマニフェストをみると、自民党では、『国家戦略としてのスポーツ・文化芸術の振興』として『スポーツ基本法』を制定し、スポーツ庁を新設する。トップレベル競技者の育成・強化や地域スポーツを振興する。2016年の東京オリンピック・パラリンピックを国を挙げて招致する」となっています。

民主党のマニフェストでは、『スポーツ基本法の制定をめざす』に加え、『小学校の校庭や公共スポーツ施設の芝生化事業を強く推進』し、『地域密着型の拠点づくりの推進』『地域のスポーツリーダーの育成』『スポーツ医学の振興』等が記載されていました。

スポーツ基本法の制定を目指す点では、両党とも一致していますので、どちらが政権を担うにせよ、近い将来に「スポーツ基本法」が制定されることを期待したいと思います。

国のスポーツ政策なんて私たちには関係ない・・・と思われがちですが、実際には、クラブへの数々の支援制度や、スポーツ施設の整備、学校の開放のあり方など、クラブに関わる多くのことに影響してくる問題となります。

総選挙が終われば、また新たにスポーツ政策のあり方が論じられていくこととなります。浦スポは、政治活動や政党活動をする組織ではありませんが、地域スポーツクラブの老舗として、情報発信と活動の実践に努め、自分達の暮らしに欠かせないスポーツをより良い状態にして、多くの仲間がスポーツを楽しめる環境づくりに貢献していきたいと思えます。

クラブ会員の皆さんも、自分達が、そして子ども達が、生涯にわたって幸せにスポーツを続けて行けるようにクラブの諸活動にご協力いただければ幸いです。

クラブフェスタに参加しよう！

埼玉県内のいろいろなスポーツクラブと交流したり、新しいスポーツを体験したりしてみませんか！

日時 10月17日(土) 10時～15時半

会場 県立武道館とスポーツ研修センター(上尾市内)

参加 無料

種目 テニス、バドミントン、卓球、子どもフットサル、ミニバスケット、キンボール、バレーボール、他

- 問い合わせ申込みはクラブ事務局まで！ -

夏休み工作教室の報告

生涯学習インストラクターの加藤先生(加藤造形教室主宰)の協力を得て恒例となった工作教室。今回は、「羽ばたく鳥」をテーマに8/20～21に開催しました。

写真のとおり、みんな立派な作品をつくりあげて、大満足！



2009年度も、浦和スポーツクラブでは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。